

勤労者及び勤労者世帯の妻の家族意識に関する調査
—その1 男女の共同参加に関する事項結果概要—

昭和57年3月

労働省婦人少年局

ま え が き

婦人少年局では、この度、今後の婦人対策及び勤労者家族対策の参考とするため、勤労者及び勤労者世帯の妻の家族意識や家庭機能、婦人の就労意識等を事例的に把握することを目的として調査を実施しました。この報告書は、その中の「男女の共同参加に関する事項」の結果を取りまとめたものです。婦人問題及び勤労者家族問題に関心をもたれる方の御参考に供します。

昭和57年3月

労働省婦人少年局

目 次

ま え が き

I 調査の概要	1
II 調査結果の概要	3
1 調査対象者の属性	3
(1) 職 種	3
(2) 学 歴	3
2 家庭機能に関する事項	3
(1) 男性が家事・育児に参加することについて	3
(2) 夫の家事・育児への参加状況	4
(3) 妻が病気・留守の際の家事・育児について	10
(4) 共働き家庭の子供の世話について	11
イ 毎日の子供の世話	11
ロ 子供が病気のときの世話	11
3 婦人の就労等社会参加に関する事項	12
(1) 女性が職業をもって働くことについて	12
(2) 女性が働くために必要なこと	13
(3) 結婚と共働きについて	15
(4) 無職の妻の社会参加意識	16
(5) 勤労者女子の就労継続意識	17
(6) 勤労者女子及び就労希望の妻の働く理由	17

統 計 表 目 次

表 1	未婚勤労者男女、既婚勤労者男女の職種（年齢階級別）	21
表 2	未婚勤労者男女、既婚勤労者男女及び無職女子の学歴 （年齢階級別）	22
表 3	男性が家事や育児にたずさわることをどう思うか（未 婚勤労者男女、既婚勤労者男女及び無職女子の年齢階級 別）	22
表 4 - (1)	夫は家事・育児にどの程度参加しているか＜仕事 の内容と程度＞（既婚勤労者男女及び無職女子の年 齢階級別——勤労者男子）	24
表 4 - (2)	夫は家事・育児にどの程度参加しているか＜仕事 の内容と程度＞（既婚勤労者男女及び無職女子の年 齢階級別——勤労者女子）	26
表 4 - (3)	夫は家事・育児にどの程度参加しているか＜仕事 の内容と程度＞（既婚勤労者男女及び無職女子の年 齢階級別——無職女子）	28
表 5 - (1)	夫は家事・育児にどの程度参加しているか＜仕事 の内容と程度＞（共働き・核家族の子供の学齢構成 別——勤労者男子）	30
表 5 - (2)	夫は家事・育児にどの程度参加しているか＜仕事 の内容と程度＞（共働き・核家族の子供の学齢構成 別——勤労者女子）	32
表 6	夫が家事・育児を「する」割合（既婚勤労者男女及び 無職女子別、核家族・非核家族別、共働き・非共働き別）	9
表 7	妻が病気・留守の際、家事・育児は誰がするか＜経験 のある人のみ＞（既婚男女の共働き・非共働き別、核家 族・非核家族別、子供の有無と学齢構成別）	34

表 8	毎日の子供の世話＜共働き、小学生以下のある人＞ （既婚勤労者男女の核家族・非核家族別、子供の学齢構成別）	34
表 9	子供が病気のときの世話＜共働き、小学生以下のある人＞ （既婚勤労者男女の核家族・非核家族別、子供の学齢構成別）	36
表10	女性が職業をもって外で働くことをどう思うか（既婚男女の共働き・非共働き別、核家族・非核家族別）	36
表11	女性が結婚後も職業をもって外で働くために必要なこと と（未婚勤労者男女、既婚勤労者男女及び無職女子別）	14
表12	女性が結婚後も職業をもって外で働くために必要なこと と（未婚勤労者男女、既婚勤労者男女及び無職女子の年齢階級別）	38
表13	結婚する場合、共働きでもよいと思うか＜未婚勤労者男女＞ （女性が職業をもって外で働くことの意識別）	38
表14	働く機会があったり、子供に手がかからなくなったら 外に出て何かしたいか＜既婚無職女子＞（年齢階級別）	40
表15	いつまで働く予定か＜未婚勤労者女子、既婚勤労者女子＞ （年齢階級別）	40
表16	いつまで働く予定か＜既婚勤労者女子＞（核家族・非核家族別、子供の有無と学齢構成別）	41
表17	働く主な理由＜未婚勤労者女子、既婚勤労者女子及び無職女子＞ （年齢階級別）	41
表18	働く主な理由＜未婚勤労者女子、既婚勤労者女子＞ （職種別）	42

I 調 査 の 概 要

1. 調査の目的

この調査は、勤労者世帯の家族意識や家庭機能、婦人の就労意識等が、性別、年代、配偶関係、職業の有無等により、どのように異なるかを明らかにすることを目的とした事例的調査である。

2. 調査対象者

調査対象者は、あらかじめ設けた下表の条件を満たす20代から40代の男女1,300人を全国から選定した。

調査対象者選定条件

配偶関係別	未婚		既 婚											
職業の有無別	勤労者		勤 労 者								無 職			
性 別	男	女	男				女				女			
年 齢 階 級 別	20代	20代	計	20代	30代	40代	計	20代	30代	40代	計	20代	30代	40代
対 象 者 数	200	200	300	100	100	100	300	100	100	100	300	100	100	100

なお、勤労者については、性別、年代ごとに、事務系と労務系がほぼ2分の1ずつとなるように、また、既婚勤労者については、男子は、共働きと非共働きがほぼ2分の1ずつとなるように選定し、女子は、すべて共働きである者を選定した。

3. 調査実施時期 昭和56年9月

4. 調査方法 全国の婦人少年室協助員により調査票の配布、回収を行った。

5. 調査事項 結婚、出産、子供等の家族形成に関する意識 家事・育児についての男女の共同参加等家庭機能に関する

意識

婦人の就労等婦人の社会参加、老後の生活、生きがいに関する意識

この報告書は、上記のうち、家事・育児についての男女の共同参加等家庭機能に関する意識及び婦人の就労等婦人の社会参加に関する意識に係る事項を取りまとめたものである。

Ⅱ 調査結果の概要

1. 調査対象者の属性

(1) 職 種

勤労者男女の職種は、未婚・既婚とも、事務系（管理・専門・技術職及び事務職）と労務系（生産・技能職、販売・サービス職及びその他）がほぼ2分の1ずつとなるよう選定したが、その詳細は表1のとおりである（表1）。

(2) 学 歴

未婚勤労者男子と女子、既婚勤労者男子と女子及び既婚無職女子の5類型を各グループとしてみた最終学歴は、いずれも「新高・旧中・旧高女卒」が5割以上で最も多い。そのうち、未婚男子は、「新高卒」が最も少なく（50％）、「大学（大学院）卒」が41％と高くなっている。未婚女子は、「新高卒」が最も多く（71％）、「短大・新高専卒」は18％、「大学（大学院）卒」は4％と少ない。既婚者のうち、勤労者男子は、「新高・旧中卒」（53％）に次いで「大学（大学院）卒」が27％ある。勤労者女子は、「新高・旧高女卒」（64％）に次いで「新中・旧高小卒」（28％）が多い。無職女子の場合は、「新高・旧高女卒」（56％）に次いで「短大・新高専卒」（23％）、「大学（大学院）卒」（13％）が続き、女子グループの中で最も学歴が高くなっている（表2）。

2. 家庭機能に関する事項

(1) 男性が家事・育児に参加することについて

「男性が家事・育児にたずさわることをどう思うか」について、未・既婚、男女のグループ別にみると、「男もできれば家事・育児に参加するほうがよ

い」が最も多く、4割～5割を占め、これに「男も家事・育児に参加すべきだ」と「家事・育児に専念する男性がいてもよい」という意見も合わせると、男性の家事・育児への参加を肯定する意見は、すべてのグループで大部分を占める。これに対し、「男は仕事に専念すべきだ」という意見は、未・既婚、男女別のいずれのグループでも1割～2割ある（図1参照）。

図1 男性が家事・育児にたずさわることをどう思うか

		(男は仕事に専念すべきだ)	(男もできれば家事・育児に参加する方がよい)	(男も家事・育児に参加すべきだ)	(家事・育児に専念する男性がいてもよい)	(その他)	(わからない)
未婚勤労者	男	21.0	51.5	7.0	11.0	2.5	7.0
	女	16.0	59.0	9.0	9.5	3.0	3.5
既婚勤労者	男	27.7	44.0	9.0	12.7	1.7	5.0
	女	14.3	56.3	11.0	11.0	2.3	5.0
既婚無職		12.7	57.3	13.7	12.3	2.3	1.7

年齢階級別にみると、「男もできれば家事・育児に参加する方がよい」は、年代の若いほど多く、「男は仕事に専念すべきだ」は、年代が高いほど多い。

更に、男性が家事・育児へ参加する意識を、共働きの状況や核家族・非核家族別にみてもあまり変化はみられない（表3）。

(2) 夫の家事・育児への参加状況

（勤労者男子の場合）

家事・育児、学校行事や町内の共同作業などへ「夫」がどの程度参加して

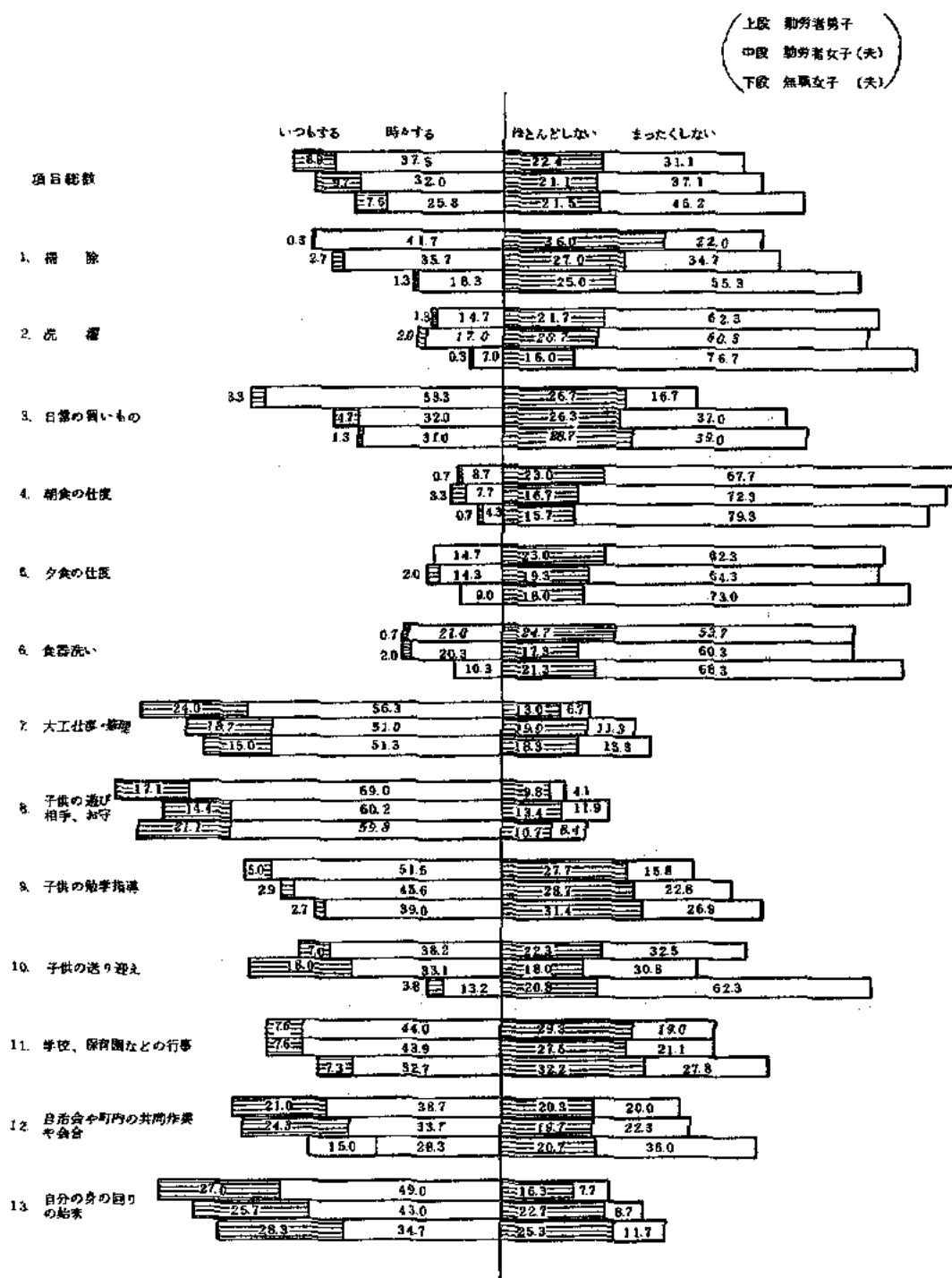
いるかをきいたところ、勤労者男子は、総合的にみて「する」の回答が46%あるが、その中の「いつもする」は9%で、「時々する」が多い。これに対し、「しない」の回答は5割を超え、なかでも、「ほとんどしない」(22%)より「全くしない」(31%)の方が多い。

家事・育児の具体的内容をみると、「いつもする」「時々する」を合わせて、「する」が高いのは、「子供の遊び相手・お守」で86%、次いで「大工仕事・修理」(80%)、「自分の身の回りの始末」(76%)、「自治会や町内の共同作業や会合」(60%)が多く、「日常の買い物」、「子供の勉学指導」(各57%)、「学校・保育園などの行事」(52%)も5割を上回っている。「する」のうち、「いつもする」割合が高いのは、「自分の身の回りの始末」(27%)、「大工仕事・修理」(24%)、「自治会や町内の共同作業や会合」(21%)である。また、「ほとんどしない」「全くしない」を合わせて「しない」回答が特に高いのは、「朝食」(91%)「夕食」(85%)の仕度、「洗濯」(84%)、「食器洗い」(78%)で、これらは、「全くしない」でも5割以上を占めている。

更に、それを年齢階級別でみると、総合的にみて、30代では「する」が50%あり、20代と40代で「する」は44%ある。

具体的項目では、いずれの年代も「子供の遊び相手・お守」、「大工仕事・修理」、「自分の身の回りの始末」は共通して「する」傾向が高いが、特に、20代は、「子供の遊び相手・お守」(96%)が高く、30代は「子供の遊び相手・お守」(91%)に加えて、「子供の勉学指導」(71%)や「学校・保育園などの行事」(57%)などを含め、他の年代と比べて子供のことを「する」傾向がみられる。30代、40代では、「自治会や町内の共同作業や会合」(69%、67%)が20代と比べて高い。一方、「しない」割合が高いのは、いずれの年代も「洗濯」や「朝食」「夕食」の仕度、「食器洗い」であるが、20代は、「自治会や町内の共同作業や会合」(57%)でも他の年代と比べて「しない」傾向がみられる(図2参照)(表4-1)。

図2 夫は家事・育児にどの程度参加するか



(勤労者女子の夫の場合)

勤労者女子からみた「夫」の家事・育児の参加状況は、「する」が42%で、そのうちの「いつもする」は10%である。「しない」(58%)のうち、「全くしない」は37%である。

具体的項目でみると、「いつもする」「時々する」を合わせて「する」傾向が高いのは、「子供の遊び相手」(75%)、「大工仕事・修理」(70%)、「自分の身の回りの始末」(69%)であり、「自治会や町内の共同作業や会合」(58%)、「学校、保育園などの行事」(52%)、「子供の送り迎え」(51%)の項目も過半数を占める。そのなかで、「いつもする」が多い項目は、「自分の身の回りの始末」(26%)と「自治会や町内の共同作業や会合」(24%)である。これに対し、「しない」の割合が高い項目は、「朝食」(89%)と「夕食」(84%)の仕度、「洗濯」(81%)、「食器洗い」(78%)である。

勤労者女子の年齢階級別でみると、総合的には大きな差はみられない。

具体的項目で「する」が高いのは、いずれの年代も「大工仕事・修理」が共通して高いが、20代では、「子供の遊び相手」(98%)が特に高いほか、「子供の勉学指導」や「子供の送り迎え」なども他の比べて高い。30代、40代では、「学校・保育園などの行事」(5割)や「自治会や町内の共同作業や会合」(6割)が20代に比べて高い(表4-(2))。

(無職女子の夫の場合)

無職女子が、「夫」の家事・育児参加について「する」と答えているのは33%で、残りの67%は「しない」と答えている。特に、「いつもする」は8%、逆に「全くしない」は45%で、勤労者男子自身及び勤労者女子の「夫」と比較して家事・育児を「しない」傾向がみられる。

「する」割合が高いのは、「子供の遊び相手・お守」(81%)、「大工仕事・修理」(66%)、「自分の身の回りの始末」(63%)の3項目である。このうち、「いつもする」のは、「自分の身の回りの始末」(28%)、「子供の遊び相手・お守」(21%)が多い。これに対し、「洗濯」、「朝食」と「夕食」の仕度、「食器洗い」は、9割台が「しない」と答え、「部

屋の掃除」(80%)も含めて、それらは「全くしない」でも5割～7割に及んでいる。

無職女子の年齢階級別でも、総合的にみて、傾向に大きな差はみられない。

具体的項目でみると、「大工仕事・修理」、「子供の遊び相手・お守」、「自分の身の回りの始末」の3項目がいずれの年代でも高く5割を上回るが、20代と30代では、「子供の遊び相手・お守」(96%と87%)が40代と比べて高く、30代は、「大工仕事・修理」(71%)や「自分の身の回りの始末」(70%)が他の年代と比べて高い。それに対して、「しない」傾向が高いのは、いずれも共通して「洗濯」、「朝食」、「夕食」の仕度、「食器洗い」、「子供の送り迎え」であるが、20代は、「子供の送り迎え」(90%)が他の年代と比べて高く、30代と40代では、「日常の買いもの」(各73%)が、40代では「学校・保育園などの行事」(68%)や「子供の遊び相手・お守」(43%)が他の年代と比べて高く、「しない」傾向がみられる(表4-3)。

(共働き・核家族の夫の場合)

共働き・核家族の勤労者男子自身は、「する」が51%であり、これは、非共働き・核家族の勤労者男子の45%に比べやや上回っている程度である。

共働き・核家族の勤労者男子のうち、「小学生以下あり」の場合は、「する」が54%で最も高く、「小学生以下なし」(47%)、「子供なし」(45%)に比べて「する」割合が高い。

具体的内容についてみると、共働き・核家族の勤労者男子は、「子供の遊び相手・お守」、「自分の身の回りの始末」、「大工仕事・修理」を「する」割合が7割～8割と高いほか、「自治会や町内の共同作業や会合」、「日常の買いもの」、「子供の勉学指導」でも「する」割合が5割を上回るが、これらは、非共働き・核家族の勤労者男子の場合と比べ差はみられない。そのほか、共働き・核家族の勤労者男子は、「部屋の掃除」や「子供の送り迎え」、「学校・保育園などの行事」を「する」割合が5割を超え、非共働き・核家族の勤労者男子に対して比較的「する」傾向がみられる。一方、共働き・核家族の勤労者

男子でも「しない」が多いのは、「朝食」(87%)や「夕食」(77%)の仕度、「洗濯」(74%)や「食器洗い」(60%)という家事である(表5-(1))。

共働き・核家族の勤労者女子は、「夫」の46%が「する」と答え、そのうち、「いつもする」は11%で、「時々する」が多い。また、「しない」が5割を上回る中で、「全くしない」(31%)が多い。しかし、「する」では、共働き・非核家族の「夫」(「する」37%、「いつもする」8%)と比べて高く、また、非共働き・核家族(無職女子)の「夫」(「する」34%、「いつもする」8%)に比べて最も高くなっている。共働き・核家族の勤労者女子の「夫」についてのこの傾向は、子供の有無や学齢別にみて違いはみられない。

表6 夫が家事・育児を「する」割合

家事・育児の内容	勤 労 者		無 職 女	(男) 核家族		(女) 核家族		(女) 非 核家族
	男	女		共 働 き	非 共 働 き	共 働 き	非 共 働 き	共 働 き
項 目 総 数	46.4	41.7	33.3	50.7	44.8	46.0	34.4	36.8
掃 除	42.0	38.4	19.6	54.2	37.0	47.0	20.8	27.6
洗 濯	16.0	19.0	7.3	36.5	12.0	27.1	8.6	8.9
日 常 の 買 物	56.6	36.7	32.3	57.8	54.3	41.5	33.4	30.6
朝 食 の 仕 度	9.4	11.0	5.0	13.2	10.9	16.2	5.9	4.4
夕 食 の 仕 度	14.7	16.3	9.0	22.9	12.0	23.5	9.0	8.2
食 器 洗 い	21.7	22.3	10.3	39.7	17.4	31.3	9.8	11.2
大 工 仕 事 ・ 修 理	80.3	69.7	66.3	78.3	85.4	71.1	66.7	68.6
子 供 の 遊 び 相 手 ・ お 守	86.1	74.6	80.9	83.1	87.4	74.0	81.4	74.5
子 供 の 勉 学 指 導	56.5	48.5	41.7	55.1	55.9	47.0	44.6	48.8
子 供 の 送 り 迎 え	45.2	51.1	17.0	53.9	37.0	59.7	17.6	41.5
学 校 ・ 保 育 園 などの 行 事	51.6	51.5	40.0	53.3	45.7	51.6	42.4	51.8
自 治 会 ・ 町 内 の 共 同 作 業 や 会 合	59.7	58.0	43.3	57.8	57.6	58.4	45.1	56.7
自 分 の 身 の 回 り の 始 末	76.0	68.7	63.0	79.5	72.9	71.7	65.9	65.7

注 「する」のパーセントは「いつもする」「時々する」の合計。太ワクは「する」が5割を超えるもの。

具体的項目についてみると、共働き・核家族の「夫」は、「子供の遊び相手・お守」、「自分の身の回りの始末」、「大工仕事・修理」を「する」割合が7割と高く、「子供の送り迎え」、「自治会や町内の共同作業や会合」、「学校・保育園などの行事」も比較的「する」傾向がみられ、また、共働き・非核家族や非共働き・核家族の女子の「夫」と比べると、「子供の送り迎え」や「食器洗い」を「する」割合が比較的高い。これに対し、「しない」が多いのは、「朝食」(84%)、「夕食」(77%)の仕度、「洗濯」(73%)、「食器洗い」(69%)、「日常の買いもの」(58%)、「部屋の掃除」(53%)などの家事と「子の勉学指導」(53%)である(表6参照)。(表5-(2))。

(3) 妻が病気・留守の際の家事・育児について

妻が病気で倒れたり、数日間家を留守にするような場合、家事・育児は誰がするかをみると、既婚男女を総合して、「母などがする」と答えたものが最も多く(47%)、次いで「夫がする」(39%)となっている。「子供がする」(6%)や「近所や親戚の人を頼む」(5%)は少ない。

核家族・非核家族別にみると、核家族においては、「夫がする」が57%で最も多いが、それを更に、子供の有無や学齢別にみると、「子供なし」の場合、特に高く(92%)、「小学生以下なし」(52%)、「小学生以下あり」(50%)では変わらない。次いで「小学生以下あり」の核家族では、他と比べて「母など家族の者がする」(34%)が特に高くなっており、「小学生以下なし」では「子供がする」(23%)が多い。非核家族では、「母など家族の者がする」は87%と大部分を占める。

核家族を共働き・非共働き別にみると、「夫がする」は、非共働き(53%)より共働き家庭(62%)においてやや高い。共働き・核家族の中では、「子供なし」(88%)の家庭で「夫がする」割合が最も高く、「小学生以下なし」(57%)がそれに次ぎ、「小学生以下あり」(49%)では、「母など家族の者がする」が40%と他と比べ特に高くなっている(表7)。

(4) 共働き家庭の子供の世話について

イ 毎日の子供の世話

共働きの勤労者男女で、小学生以下の子供を持つ家庭は、両親の働いている間「子供の世話はどうしているか」をみると、一番多いのは、「幼稚園・学校+母など家族の者がみている」(36%)で、「一日中母など家族の者がみている」(22%)と「保育園にあづけている」(21%)がほぼ同数になっている。そのほか、「幼稚園・学校+子供だけで家にいる」(16%)も若干ある。

これを核家族・非核家族別や子供の学齢構成別にみると、核家族では、「幼稚園・学校+子供だけで家にいる」(32%)、「保育園にあづけている」(31%)を合わせると6割を超える。このうち、「未就学児あり」の家庭では、「保育園にあづけている」が50%と高くなり、次いで「一日中母など家族の者がみている」が20%あるのに対して、「未就学児なし」の家庭では、「学校+子供だけで家にいる」が73%と高く、「学校+母など家族の者がみている」は23%である。

これと比べて、共働きでも非核家族家庭では、「幼稚園・学校+母など家族の者がみている」が53%と最も多く、「一日中母など家族の者がみている」も30%ある。その中でも「未就学児あり」では、「一日中母など家族の者がみている」(41%)が最も高く、次いで、「幼稚園+母など家族の者がみている」(37%)と合わせて家族の者がみる傾向は8割近く、「保育園にあづけている」(20%)は比較的低い。「未就学児なし」では、「学校+母など家族の者がみている」(86%)が大部分を占める(表8)。

ロ 子供が病気のときの世話

共働きで小学生以下の子供を持つ勤労者男女に、「子供が病気のとき主にみる人」をきいたところ、「母など家族の者がみる」が49%あり、これに次いで「妻が仕事を休んでみる」が37%と多い。「夫か妻のどちらか都合がつく方が休む」は9%で、「夫が仕事を休んでみる」は2%と少ない。

核家族・非核家族別でみた場合、核家族では、「妻が休んでみる」が多く（５５％）、それを更に小学生以下の子供の有無別にみても、これが最も多いが、「未就学児あり」（４９％）よりも「未就学児なし」（６４％）の方が高くなっている。核家族でも「未就学児あり」では、「母など家族の者がみる」（３２％）も比較的多い。

一方、共働きでも非核家族の場合は、「母など家族の者がみる」（６８％）が最も多く、「妻が仕事を休んでみる」は２３％であるが、それは「未就学児なし」（１８％）より「未就学児あり」（２６％）の方が高くなっている（表９）。

3. 婦人の就労等社会参加に関する事項

(1) 女性が職業をもって働くことについて

全対象者に、「女性が職業を持って外で働くことをどう思うか」をきいたところ、未・既婚、男女別のいずれのグループでも「子供ができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が最も多く、既婚の勤労者男子（５３％）及び無職女子（５４％）で過半数を占め、既婚勤労者女子（４９％）と未婚勤労者女子（４６％）がそれに続き、未婚男子は、３８％で最も低くなっている。未婚の勤労者男女は、「子供ができるまでは職業を持つ方がよい」（男２２％、女１９％）が２番目に高く、「女性も一生職業をもつ方がよい」（男１７％、女１８％）がそれに次ぐ。既婚者は、男女とも「女性も一生職業をもつ方がよい」が第２位であるが、勤労者女子では３３％、無職女子では２２％、勤労者男子では１５％と差がみられる。「女性は職業をもたない方がよい」は、いずれのグループでも最も低く、最も高い勤労者男子においてもその割合は７％である（図３参照）。

既婚者のみにしてみると、「子供ができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」がいずれも最も多いが、なかでも、男子は、共働き・核家族で最も高く（６１％）、女子は、共働き・核家族（５４％）と非共働

図3 女性が職業をもって働くことをどう思うか

		(女性も一生職業をもつ方がよい)	(結婚するまでは職業をもつ方がよい)	(子供ができるまでは職業をもつ方がよい)	(子供ができたら職業をやめ大きくくたたら再び職業をもつ方がよい)	(女性は職業をもたない方がよい)	
未婚勤労者	男	16.5	15.0	21.5	38.0	4.0	5.0
	女	17.5	13.0	19.0	45.5	1.0	4.0
既婚勤労者	男	15.3	8.7	10.6	53.3	6.7	5.3
	女	32.7	2.0	8.3	49.3	3.0	4.7
既婚無職	女	22.3	9.3	6.3	54.0	1.0	7.0

き・核家族(55%)でともに高い。「女性も一生職業をもつ方がよい」は、非共働き(男9%、女22%)よりも共働き(男22%、女33%)の方が高く、共働きのなかでは、核家族(男17%、女30%)より非核家族(男28%、女37%)の方が多くという特徴がみられ、男女とも共働き・非核家族で最も多くなっている(表10)。

(2) 女性が働くために必要なこと

「女性が結婚後も職業をもって働くためにはどんなことが必要か」について、全対象者に必要な項目をすべて挙げてもらったところ、平均して1人が3項目弱挙げている。なかでも、無職女子が最も多く(3.1項目)、特に40代は3.3項目をあげており、既婚勤労者女子(2.8項目)がそれに次ぐ。

項目別にみると、その回答はかなり多様に分布しているが、「保育施設の充実」、「労働時間の短縮や休暇の増大」、「女性がもっと自覚を高め、家庭との両立に努力すること」、「育児休業制度の普及」、「男性も家事・育児にたずさわるという意識の変化」の5項目は、すべてのグループで共通して5順位内に挙げている。

「保育施設の充実」については、いずれも2割前後あるが、既婚の無職女子、既婚勤労者男女及び未婚勤労者女子においては最も高い割合を占めている。未婚勤労者男子は、「労働時間の短縮や休暇の増大」が最も高く21%あり、既婚勤労者男子(18%)と女子(16%)においても2番目に高い。「女性がもっと自覚を高め、家庭との両立に努力すること」は、未婚勤労者男子(17%)と女子(16%)及び既婚勤労者男子(16%)でも2～3番目に高く、「育児休業制度の普及」については、無職女子(15%)が2番目に、未婚及び既婚勤労者女子(15%と14%)でも3番目に高い。「男性も家事・育児にたずさわるとい意識変化」は、無職女子(15%)で3番目に高い。なお、「仕事の上での男女平等が進むこと」は、未・既婚、勤労者・無職を問わず、女子の各グループが男子より高く、いずれも8%～9%みられる(表11参照)。

表11 女性が結婚後も職業をもって働くために必要なこと

(MA)

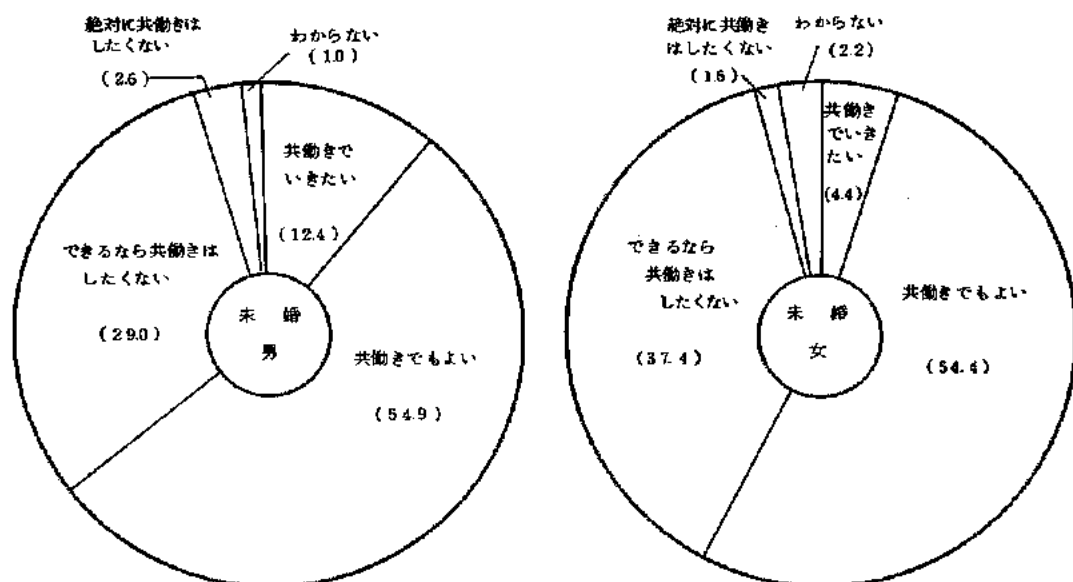
女性が結婚後も職業をもって働くために必要なこと	未婚勤労者		既婚勤労者		既婚無職
	男	女	男	女	女
計	458 (100.0)	531 (100.0)	742 (100.0)	836 (100.0)	943 (100.0)
家事がさらに合理化されること	7.9	7.5	8.9	8.6	6.2
保育施設の充実	17.2	16.9	18.8	17.9	20.8
労働時間の短縮や休暇の増大	21.2	13.9	17.8	15.8	11.8
育児休業制度の普及	12.4	14.9	11.6	13.8	15.4
看護休暇制度の普及	2.8	3.2	3.4	5.7	6.3
ホームヘルプ制度などの 家事援助制度の設置	2.2	1.9	3.6	3.3	5.3
男性も家事・育児にたずさわるとい意識の変化	9.4	13.9	11.6	11.0	14.5
女性がもっと自覚を高め、家庭との両立に努力すること	17.0	16.2	16.1	13.2	9.7
仕事上での男女平等が進むこと	4.6	8.7	3.6	7.9	8.0
そ の 他	0.7	0.8	0.9	0.7	0.4
特に必要はない	1.1	0.2	1.6	0.1	0.3
わ か ら な い	3.5	1.9	2.2	1.9	1.5

年齢階級別にみても、先に挙げた5項目がいずれのグループの年代でも高く、「保育施設の充実」についてみると、既婚無職女子の20代、30代、40代(20%~21%)、既婚勤労者男子の30代(21%)及び女子の20代(21%)、30代(20%)においても最も高い。既婚勤労者男子の20代では、「労働時間の短縮や休暇の増大」が20%で最も多い。既婚勤労者の男女とも、40代では、「女性がもっと自覚を高め、家庭との両立に努力すること」(男20%、女17%)が最も多くなっている(表12)。

(3) 結婚と共働きについて

結婚の意志をもつ未婚男女に、「結婚する場合、共働きでもよいと思うか」をきいたところ、「共働きでもよいと思う」が男(55%)、女(54%)とも過半数あり、「共働きでいきたい」(男12%、女4%)も含め、共働きを肯定するものは6割前後ある。これに対し、「できるなら共働きはしたくない」(男29%、女37%)と「絶対に共働きはしたくない」(男3%、女2%)も3割強ある(図4参照)。

図4. 結婚する場合共働きでもよいか



共働き意識を、更に前述の、「女性が職業をもって働くこと」との関連でみると、結婚の際「共働きでもよいと思う」と答えた人でも、男女ともその47%は「子供ができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」と答え、男子は、次いで「女性も一生職業をもつ方がよい」と「子供ができるまでは職業をもつ方がよい」が各21%となっている。これに対し、女子は「子供ができるまで職業をもつ方がよい」が25%、「女性も一生職業をもつ方がよい」が20%である。

「できるなら共働きはしたくない」人についてみると、男子は、「結婚するまでは職業をもつ方がよい」(34%)と「子供ができるまでは職業をもつ方がよい」(29%)が合わせて6割を超え、「子供ができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」は20%である。また、「女性は職業をもたない方がよい」も13%みられる。これに対して、女子は、「子供ができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が49%と最も多く、「結婚するまでは職業をもつ方がよい」(24%)がこれに次ぐが、「女性は職業をもたない方がよい」は3%と少ない。「共働きでいきたい」男子は、「子供ができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が過半数を超え、女子は「女性も一生職業をもつ方がよい」が大半を占める(表13)。

(4) 無職の妻の社会参加意識

既婚の無職女子に、「働く機会があったり、子供に手がかからなくなったら外に出て何かしたいと思うか」をきいたところ、54%が「就職したい」と答え、「趣味・レジャー活動をしたい」というのも30%みられる。「外に出て何かしたいとは思わない」人は6%と少ない。

年齢階級別では、20代、30代、40代とも就職希望が最も多く、特に30代(60%)、20代(57%)においてその割合が高い。また、どの年代も「趣味・レジャー活動をしたい」がこれに次いで多く、特に、20代(35%)と40代(32%)で若干高い。また、40代では、「婦人会活動や社会活動をしたい」が11%あり、「外に出て何かしたいとは思わない」

人も10%あって、ともに他の年代より高い(表14)。

(5) 勤労者女子の就労継続意識

未婚及び既婚の勤労者女子は「いつまで働く予定か」をみると、未婚女子は、「子供ができるまで働きたい」が41%で最も多く、「結婚するまで働きたい」の27%と合わせ、結婚か出産を期に退めたいものが多く、「定年まで(できるだけ長く)働きたい」は15%であるのに対して、既婚女子は、「定年まで(できるだけ長く)働きたい」が58%と最も高く、「生活のメドがつき次第退めたい」(22%)がそれに次ぐ。

既婚者を年齢階級別にみると、30代と40代で「定年まで(できるだけ長く)働きたい」が特に高く、68%と70%みられるが、20代でも「定年まで(できるだけ長く)働きたい」は比較的高い一方、「子供ができるまで働きたい」も33%ある(表15)。

既婚者を家族形態別でみても大きな違いはみられないが、「定年まで(できるだけ長く)働きたい」は核家族(51%)より非核家族(67%)に多く、「子供ができるまで働きたい」は非核家族で3%にすぎないが核家族では22%みられる(表16)。

(6) 勤労者女子及び就労希望の妻の働く理由

未・既婚の勤労者女子及び既婚無職女子の「就職したい」層に働く理由をきいたところ、いずれのグループも「生活を豊かにしたり、自分の小遣いがほしいから」というのが最も多く、3割前後みられる。次いで多いのは、未婚勤労者女子では、「働かないと生活できないから」及び「働くことは当然だから」で、ともに19%ある。既婚勤労者女子も「働かないと生活できないから」が19%あり、「将来や老後のための蓄え」(13%)、「住宅や教育費が必要だから」(11%)がそれに次ぐ。これに対し、既婚無職女子の就職希望理由は、「社会経験をしたり友達がほしいから」(19%)や「自分の能力や技術を生かしたいから」(14%)、「住宅費や教育費が必要だから」(12%)がこれに次ぐ。

年齢別階級別にみた特徴は、既婚勤労者女子の20代、30代及び既婚無職女子のどの年代でも、「生活を豊かにしたり、自分の小遣いがほしいから」が最も多く、また、年齢が若いほど高い。既婚勤労者女子の40代では、「働かないと生活できないから」(22%)と「生活を豊かにしたり、自分の小遣いがほしいから」(20%)がほぼ同数みられる(表17)。

勤労者女子のみについて働く理由を職種別にみると、いずれも「生活を豊かにしたり、自分の小遣いがほしいから」が最も多いが、それに次いで、未婚女子の事務系では「社会経験をしたり、友達がほしいから」(20%)が、労務系では「働かないと生活できないから」(20%)が高い。既婚女子は、「働かないと生活できないから」が事務系(15%)、労務系(23%)のどちらも2番目に多く、次いで、事務系では「働くことは当然だから」(14%)が多いが、労務系(3%)では少ない(表18)。

統計表

表1. 未婚勤労者男女、既婚勤労者男女の職種（年齢階級別）

職 種	未 婚		既 婚				婚					
	男		女		男				女			
	2 0 代	2 0 代	小 計	2 0 代	3 0 代	4 0 代	小 計	2 0 代	3 0 代	4 0 代		
計	200 (100.0)	200 (100.0)	300 (100.0)	100 (100.0)	100 (100.0)	100 (100.0)	300 (100.0)	100 (100.0)	100 (100.0)	100 (100.0)		
	5.5	3.5	18.3	9.0	18.0	28.0	4.0	5.0	2.0	5.0		
事務系	43.0	51.0	32.7	37.0	38.0	23.0	44.3	44.0	49.0	40.0		
労務系	42.0	32.5	38.3	38.0	33.0	44.0	35.3	34.0	36.0	36.0		
	9.5	12.5	10.7	16.0	11.0	5.0	15.7	17.0	13.0	17.0		
その他	-	0.5	-	-	-	-	0.7	-	-	2.0		

表2. 未婚勤労者男女、既婚勤労者男女及び無職女子の学歴（年齢階級別）

学 歴	未 婚（勤労者）		既 婚			
	男	女	男			
	20代	20代	小 計	20代	30代	40代
計	200 (100.0)	200 (100.0)	300 (100.0)	100 (100.0)	100 (100.0)	100 (100.0)
旧 小 卒	—	—	0.3	—	—	1.0
新 中・旧 高 小 卒	5.0	8.0	15.3	8.0	12.0	26.0
新高・旧中・旧高女卒	50.0	70.5	53.0	56.0	46.0	57.0
短 大・新 高 専 卒	4.0	18.0	4.7	8.0	5.0	1.0
大学（大学院）卒	41.0	3.5	26.7	28.0	37.0	15.0

表3. 男性が家事や育児にたずさわることをどう思うか（未婚勤労者男女、

男性の家事・育児参加意識	未 婚（勤労者）		既 婚			
	男	女	男			
	20代	20代	小 計	20代	30代	40代
計	200 (100.0)	200 (100.0)	300 (100.0)	100 (100.0)	100 (100.0)	100 (100.0)
男は仕事に専念すべきだ	21.0	16.0	27.7	18.0	26.0	39.0
男もできれば家事・育児に参加する方がよい	51.5	59.0	44.0	48.0	45.0	39.0
男も家事育児に参加すべきだ	7.0	9.0	9.0	11.0	6.0	10.0
家事・育児に専念する男性がいてもよい	11.0	9.5	12.7	13.0	20.0	5.0
そ の 他	2.5	3.0	1.7	3.0	2.0	—
わ か ら な い	7.0	3.5	5.0	7.0	1.0	7.0

(勤 勞 者)				既 婚 (無 職)			
女				女			
小 計	20代	30代	40代	小 計	20代	30代	40代
300 (100.0)	100 (100.0)	100 (100.0)	100 (100.0)	300 (100.0)	100 (100.0)	100 (100.0)	100 (100.0)
—	—	—	—	—	—	—	—
28.0	16.0	21.0	47.0	8.0	4.0	4.0	16.0
64.0	72.0	71.0	49.0	56.0	51.0	61.0	56.0
6.0	9.0	5.0	4.0	23.0	32.0	20.0	17.0
2.0	3.0	3.0	—	13.0	13.0	15.0	11.0

既婚勤労者男女及び無職女子の年齢階級別)

(勤 勞 者)				既 婚 (無 職)			
女				女			
小 計	20代	30代	40代	小 計	20代	30代	40代
300 (100.0)	100 (100.0)	100 (100.0)	100 (100.0)	300 (100.0)	100 (100.0)	100 (100.0)	100 (100.0)
14.3	10.0	12.0	21.0	12.7	8.0	14.0	16.0
56.3	64.0	53.0	52.0	57.3	58.0	57.0	57.0
11.0	9.0	15.0	9.0	13.7	15.0	18.0	8.0
11.0	9.0	12.0	12.0	12.3	13.0	8.0	16.0
2.3	3.0	4.0	—	2.3	4.0	1.0	2.0
5.0	5.0	4.0	6.0	1.7	2.0	2.0	1.0

表4-(I) 夫は家事・育児にどの程度参加しているか〈仕事の内容と程度〉

家事・育児 の 内 容	合 計					20 代				
	計	い つも する	時 々 する	ほ とん ど し な い	全 く し な い	小 計	い つも する	時 々 する	ほ とん ど し な い	全 く し な い
計	3,488 (100.0)	8.9	37.5	22.4	31.1	1,054 (100.0)	7.6	36.9	22.3	33.2
部 屋 の 掃 除	300 (100.0)	0.3	41.7	36.0	22.0	100 (100.0)	—	37.0	39.0	24.0
洗 濯	300 (100.0)	1.3	14.7	21.7	62.3	100 (100.0)	—	12.0	25.0	63.0
日常の買いもの	300 (100.0)	3.3	53.3	26.7	16.7	100 (100.0)	4.0	55.0	26.0	75.0
朝食の仕度	300 (100.0)	0.7	8.7	23.0	67.7	100 (100.0)	1.0	9.0	22.0	68.0
夕食の仕度	300 (100.0)	—	14.7	23.0	62.3	100 (100.0)	—	15.0	26.0	59.0
食 器 洗 い	300 (100.0)	0.7	21.0	24.7	53.7	100 (100.0)	1.0	24.0	21.0	54.0
大工仕事・修理	300 (100.0)	24.0	56.3	13.0	6.7	100 (100.0)	23.0	60.0	12.0	5.0
子供の遊び相手 お 守	245 (100.0)	17.1	69.0	9.8	4.1	67 (100.0)	20.9	74.6	3.0	1.5
子供の勉学指導	202 (100.0)	5.0	51.5	27.7	15.8	32 (100.0)	6.3	50.0	21.9	21.9
子供の送り迎え	157 (100.0)	7.0	38.2	22.3	32.5	29 (100.0)	10.3	41.4	20.7	27.6
学校・保育園 などの行事	184 (100.0)	7.6	44.0	29.3	19.0	26 (100.0)	7.7	38.5	26.9	26.9
自治会や町内の 共同作業や会合	300 (100.0)	21.0	38.7	20.3	20.0	100 (100.0)	14.0	29.0	24.0	33.0
自分の身の 回りの始末	300 (100.0)	27.0	49.0	16.3	7.7	100 (100.0)	16.0	60.0	18.0	6.0

(既婚勤労者男女及び無職女子の年齢階級別—勤労者男子)

30 代					40 代				
小計	いつもする	時々する	ほとんどしない	全くしない	小計	いつもする	時々する	ほとんどしない	全くしない
1201 (100.0)	9.9	40.4	20.6	29.1	1233 (100.0)	9.2	35.2	24.4	31.2
100 (100.0)	1.0	45.0	35.0	19.0	100 (100.0)	—	43.0	34.0	23.0
100 (100.0)	4.0	13.0	20.0	63.0	100 (100.0)	—	19.0	20.0	61.0
100 (100.0)	3.0	57.0	27.0	13.0	100 (100.0)	3.0	48.0	27.0	22.0
100 (100.0)	1.0	9.0	24.0	66.0	100 (100.0)	—	8.0	23.0	69.0
100 (100.0)	—	16.0	19.0	65.0	100 (100.0)	—	13.0	24.0	63.0
100 (100.0)	1.0	21.0	23.0	55.0	100 (100.0)	—	18.0	30.0	52.0
100 (100.0)	21.0	58.0	14.0	7.0	100 (100.0)	28.0	51.0	13.0	8.0
87 (100.0)	23.0	67.8	8.0	1.1	91 (100.0)	8.8	65.8	16.5	8.8
79 (100.0)	7.6	63.3	15.2	13.9	91 (100.0)	2.2	41.8	40.7	15.4
68 (100.0)	5.9	45.6	22.1	26.5	60 (100.0)	6.7	28.3	23.3	41.7
67 (100.0)	6.0	50.7	26.9	16.4	91 (100.0)	8.8	40.7	31.9	18.7
100 (100.0)	21.0	48.0	19.0	12.0	100 (100.0)	28.0	39.0	18.0	15.0
100 (100.0)	33.0	44.0	14.0	9.0	100 (100.0)	32.0	43.0	17.0	8.0

表4-(2) 夫は家事・育児にどの程度参加しているか〈仕事の内容と程度〉

家事・育児 の 内 容	合 計					20 代				
	計	いつも する	時々 する	ほとんど しない	全く しない	小 計	いつも する	時々 する	ほとんど しない	全く しない
計	3,376 (100.0)	9.7	32.0	21.1	37.1	1,040 (100.0)	7.7	32.7	21.9	37.7
部 屋 の 掃 除	300 (100.0)	2.7	35.7	27.0	34.7	100 (100.0)	—	35.0	30.0	35.0
洗 濯	300 (100.0)	2.0	17.0	20.7	60.3	100 (100.0)	—	21.0	22.0	57.0
日常の買いもの	300 (100.0)	4.7	32.0	26.3	37.0	100 (100.0)	5.0	37.0	28.0	30.0
朝食の仕度	300 (100.0)	3.3	7.7	16.7	72.3	100 (100.0)	1.0	7.0	18.0	74.0
夕食の仕度	300 (100.0)	2.0	14.3	19.3	64.3	100 (100.0)	—	14.0	20.0	66.0
食 器 洗 い	300 (100.0)	2.0	20.3	17.3	60.3	100 (100.0)	1.0	18.0	19.0	62.0
大工仕事・修理	300 (100.0)	18.7	51.0	19.0	11.3	100 (100.0)	16.0	55.0	18.0	11.0
子供の遊び相手 お 守	201 (100.0)	14.4	60.2	13.4	11.9	49 (100.0)	26.5	71.4	2.0	—
子供の勉強指導	171 (100.0)	2.9	45.6	28.7	22.8	28 (100.0)	—	67.9	25.0	7.1
子供の送り迎え	133 (100.0)	18.0	33.1	18.0	30.8	35 (100.0)	28.6	34.3	11.4	25.7
学校・保育園 などの行事	171 (100.0)	7.6	43.9	27.5	21.1	28 (100.0)	3.6	35.7	42.9	17.9
自治会や町内の 共同作業や会合	300 (100.0)	24.3	33.7	19.7	22.3	100 (100.0)	17.0	29.0	22.0	32.0
自分の身の 回りの始末	300 (100.0)	25.7	43.0	22.7	8.7	100 (100.0)	16.0	48.0	27.0	9.0

(既婚勤労者男女及び無職女子の年齢階級別—勤労者女子)

30代					40代				
小計	いつもする	時々する	ほとんどしない	全くしない	小計	いつもする	時々する	ほとんどしない	全くしない
1206 (100.0)	10.4	33.3	21.3	34.9	1130 (100.0)	10.7	30.1	20.2	39.0
100 (100.0)	3.0	32.0	26.0	39.0	100 (100.0)	5.0	40.0	25.0	30.0
100 (100.0)	2.0	17.0	16.0	65.0	100 (100.0)	4.0	13.0	24.0	59.0
100 (100.0)	3.0	35.0	26.0	36.0	100 (100.0)	6.0	24.0	25.0	45.0
100 (100.0)	3.0	8.0	18.0	71.0	100 (100.0)	6.0	8.0	14.0	72.0
100 (100.0)	1.0	19.0	18.0	62.0	100 (100.0)	5.0	10.0	20.0	65.0
100 (100.0)	1.0	25.0	17.0	57.0	100 (100.0)	4.0	18.0	16.0	62.0
100 (100.0)	20.0	51.0	21.0	8.0	100 (100.0)	20.0	47.0	18.0	15.0
84 (100.0)	15.5	59.5	19.0	6.0	68 (100.0)	4.4	52.9	14.7	27.9
75 (100.0)	4.0	50.7	25.3	20.0	68 (100.0)	2.9	30.9	33.8	32.4
73 (100.0)	17.8	30.1	21.9	30.1	25 (100.0)	4.0	40.0	16.0	40.0
74 (100.0)	9.5	41.9	27.0	21.6	69 (100.0)	7.2	49.3	21.7	21.7
100 (100.0)	30.0	33.0	21.0	16.0	100 (100.0)	26.0	39.0	16.0	19.0
100 (100.0)	27.0	41.0	23.0	9.0	100 (100.0)	34.0	40.0	18.0	8.0

表4-③ 夫は家事・育児にどの程度参加しているか〈仕事の内容と程度〉

家事・育児 の 内 容	合 計					20 代				
	計	い つも する	時 々 する	ほ とん ど し な い	全 く し な い	小 計	い つも する	時 々 する	ほ とん ど し な い	全 く し な い
計	3548 (100.0)	7.6	25.8	21.5	45.2	1114 (100.0)	8.3	26.3	21.8	43.5
部 屋 の 掃 除	300 (100.0)	1.3	18.3	25.0	55.3	100 (100.0)	—	21.0	25.0	54.0
洗 濯	300 (100.0)	0.3	7.0	16.0	76.7	100 (100.0)	—	7.0	15.0	78.0
日常の買いもの	300 (100.0)	1.3	31.0	28.7	39.0	100 (100.0)	2.0	41.0	27.0	30.0
朝食の仕度	300 (100.0)	0.7	4.3	15.7	79.3	100 (100.0)	—	2.0	19.0	79.0
夕食の仕度	300 (100.0)	—	9.0	18.0	73.0	100 (100.0)	—	11.0	21.0	68.0
食 器 洗 い	300 (100.0)	—	10.3	21.3	68.3	100 (100.0)	—	14.0	21.0	65.0
大工仕事・修理	300 (100.0)	15.0	51.3	18.3	15.3	100 (100.0)	15.0	50.0	23.0	12.0
子供の遊び相手 お 守	261 (100.0)	21.1	59.8	10.7	8.4	86 (100.0)	34.9	60.5	4.7	—
子供の勉強指導	223 (100.0)	2.7	39.0	31.4	26.9	49 (100.0)	4.1	36.7	30.6	28.6
子供の送り迎え	159 (100.0)	3.8	13.2	20.8	62.3	41 (100.0)	4.9	4.9	19.5	70.7
学校・保育園 などの行事	205 (100.0)	7.3	32.7	32.2	27.8	38 (100.0)	13.2	28.9	28.9	28.9
自治会や町内の 共同作業や会合	300 (100.0)	15.0	28.3	20.7	36.0	100 (100.0)	15.0	27.0	23.0	35.0
自分の身の 回りの始末	300 (100.0)	28.3	34.7	25.3	11.7	100 (100.0)	22.0	37.0	31.0	10.0

(既婚勤労者男女及び無職女子の年齢階級別—無職女子)

30 代					40 代				
小計	いつもする	時々する	ほとんどしない	全くしない	小計	いつもする	時々する	ほとんどしない	全くしない
1,258 (100.0)	7.6	27.5	21.5	43.4	1,176 (100.0)	6.8	23.4	21.3	48.6
100 (100.0)	1.0	16.0	30.0	53.0	100 (100.0)	3.0	18.0	20.0	59.0
100 (100.0)	—	4.0	19.0	77.0	100 (100.0)	1.0	10.0	14.0	75.0
100 (100.0)	—	27.0	33.0	40.0	100 (100.0)	2.0	25.0	26.0	47.0
100 (100.0)	1.0	5.0	13.0	81.0	100 (100.0)	1.0	6.0	15.0	78.0
100 (100.0)	—	6.0	15.0	79.0	100 (100.0)	—	10.0	18.0	72.0
100 (100.0)	—	8.0	18.0	74.0	100 (100.0)	—	9.0	25.0	66.0
100 (100.0)	14.0	57.0	15.0	14.0	100 (100.0)	16.0	47.0	17.0	20.0
94 (100.0)	20.2	67.0	8.5	4.3	81 (100.0)	7.4	50.6	19.8	22.2
92 (100.0)	2.2	46.7	31.5	19.6	82 (100.0)	2.4	31.7	31.7	34.1
85 (100.0)	3.5	16.4	21.2	58.8	33 (100.0)	3.0	15.2	21.2	60.6
87 (100.0)	6.9	39.1	35.6	18.4	80 (100.0)	5.0	27.5	30.0	37.5
100 (100.0)	20.0	28.0	18.0	34.0	100 (100.0)	10.0	30.0	21.0	39.0
100 (100.0)	29.0	41.0	24.0	6.0	100 (100.0)	34.0	26.0	21.0	19.0

表5-① 夫は家事・育児にどの程度参加しているか〈仕事の内容と程度〉

家事・育児 の 内 容	共 勤 き ・									
	合 計					小 学 生 以 下 有 り				
	計	い つも する	時 々 する	ほ と し な い	全 く し な い	小 計	い つも する	時 々 する	ほ と し な い	全 く し な い
計	100.0	10.1	40.6	25.6	23.7	100.0	11.1	43.3	25.6	20.0
部 屋 の 掃 除	100.0	—	54.2	32.5	13.3	100.0	—	59.5	35.7	4.8
洗 濯	100.0	3.6	22.9	30.1	43.4	100.0	7.1	21.4	26.2	45.2
日常の買いもの	100.0	2.4	55.4	28.9	13.3	100.0	2.4	57.1	28.6	11.9
朝食の仕度	100.0	1.2	12.0	33.7	53.0	100.0	2.4	14.3	31.0	52.4
夕食の仕度	100.0	—	22.9	31.3	45.8	100.0	—	24.0	33.3	42.9
食 器 洗 い	100.0	2.4	37.3	31.3	28.9	100.0	—	40.5	33.3	26.2
大工仕事・修理	100.0	22.9	55.4	16.9	4.8	100.0	21.4	57.1	19.0	2.4
子供の遊び相手 お 守	100.0	20.8	62.3	11.3	5.6	100.0	26.2	61.9	11.9	—
子供の勉学指導	100.0	14.3	40.8	32.7	12.2	100.0	15.8	47.3	28.9	7.9
子供の送り迎え	100.0	10.3	43.6	20.5	25.6	100.0	10.3	43.6	20.5	25.6
学校・保育園 などの行事	100.0	8.9	44.4	22.2	24.4	100.0	2.9	50.0	26.5	20.6
自治会や町内の 共同作業や会合	100.0	20.5	37.3	18.1	24.1	100.0	16.7	40.5	26.2	16.7
自分の身の 回りの始末	100.0	28.9	50.6	16.9	3.6	100.0	38.1	47.6	11.9	2.3

(共働き・核家族の子供の学齢構成別—勤労者男子)

核 家 族									
小学生以下なし					子 供 な し				
小 計	い つ も す る	時 々 す る	ほ と ん ど い ない	全 く し な い	小 計	い つ も す る	時 々 す る	ほ と ん ど い ない	全 く し な い
100.0	9.3	38.0	26.0	26.7	100.0	8.3	36.5	25.4	29.8
100.0	—	46.2	15.4	38.5	100.0	—	50.0	35.7	14.3
100.0	—	15.4	46.2	38.5	100.0	—	28.6	28.6	42.9
100.0	7.7	53.8	30.8	7.7	100.0	—	53.6	28.6	17.9
100.0	—	7.7	38.5	53.8	100.0	—	10.7	35.7	53.6
100.0	—	15.4	46.2	38.5	100.0	—	25.0	21.4	53.6
100.0	—	38.5	30.8	30.8	100.0	7.1	32.1	28.6	32.1
100.0	15.4	61.5	23.1	—	100.0	28.6	50.0	10.7	10.7
100.0	—	63.6	9.1	27.3	—	—	—	—	—
100.0	9.1	18.2	45.5	27.3	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
100.0	27.3	27.3	9.1	36.4	—	—	—	—	—
100.0	30.8	53.8	—	15.4	100.0	21.4	25.0	14.3	39.3
100.0	23.1	53.8	15.4	7.7	100.0	17.9	53.6	25.0	3.6

表5-② 夫は家事・育児にどの程度参加しているか＜仕事の内容と程度＞

家事・育児の 内 容	共 働 き									
	合 計					小学生以下あり				
	計	いつも する	時々 する	ほとんど しない	全く しない	小 計	いつも する	時々 する	ほとんど しない	全く しない
計	100.0	10.8	35.2	23.0	31.1	100.0	9.7	36.2	22.0	32.1
部 屋 の 掃 除	100.0	3.0	44.0	27.7	25.3	100.0	—	42.6	23.5	33.8
洗 濯	100.0	3.0	24.1	26.5	46.4	100.0	—	22.1	25.0	52.9
日常の買いもの	100.0	6.6	34.9	30.1	28.3	100.0	4.4	29.4	35.3	30.9
朝食の仕度	100.0	4.2	12.0	21.7	62.0	100.0	1.5	11.8	19.1	67.6
夕食の仕度	100.0	3.0	20.5	25.9	50.6	100.0	—	16.2	23.5	60.3
食 器 洗 い	100.0	2.4	28.9	23.5	45.2	100.0	—	26.5	19.1	54.4
大工仕事・修理	100.0	20.5	50.6	19.3	9.6	100.0	16.2	48.5	22.1	13.2
子供の遊び相手 お 守	100.0	17.7	56.3	13.5	12.5	100.0	23.5	63.2	10.3	2.9
子供の勉学指導	100.0	3.5	43.5	31.8	21.2	100.0	5.3	52.6	29.8	12.3
子供の送り迎え	100.0	26.9	32.8	11.9	28.5	100.0	26.9	32.8	11.9	28.4
学校・保育園 などの行事	100.0	9.1	42.5	25.3	23.0	100.0	8.5	47.5	23.7	20.3
自治会や町内の 共同作業や会合	100.0	22.3	36.1	17.5	24.1	100.0	16.2	38.2	22.1	23.5
自分の身の 回りの始末	100.0	25.9	45.8	19.3	9.0	100.0	23.5	42.6	22.1	11.8

(共働き・核家族の子供の学齢構成別—勤労者女子)

核 家 族					子 供 な し				
小 学 生 以 下 な し					子 供 な し				
小 計	い つ も す る	時 々 す る	ほ と し ん ど い	全 く し な い	小 計	い つ も す る	時 々 す る	ほ と し ん ど い	全 く し な い
100.0	14.2	30.4	22.7	32.7	100.0	9.3	38.1	25.1	27.6
100.0	9.1	40.9	25.0	25.0	100.0	1.9	48.1	35.2	14.8
100.0	11.4	15.9	27.3	45.5	100.0	—	33.3	27.8	38.9
100.0	6.8	25.0	29.5	38.6	100.0	9.3	50.0	24.1	16.7
100.0	11.4	11.4	20.5	56.8	100.0	1.9	13.0	25.9	59.3
100.0	9.1	15.9	25.0	50.0	100.0	1.9	29.5	29.6	38.9
100.0	9.1	29.5	15.9	45.5	100.0	—	31.5	35.2	33.3
100.0	25.0	40.9	22.7	11.4	100.0	22.2	61.1	13.0	3.7
100.0	3.6	39.3	21.4	35.7	—	—	—	—	—
100.0	—	25.0	35.7	39.3	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
100.0	10.7	32.1	28.6	28.6	—	—	—	—	—
100.0	31.8	43.2	13.6	11.4	100.0	22.2	27.8	14.8	35.2
100.0	31.8	47.7	13.6	6.8	100.0	24.1	48.1	20.4	7.4

表7. 妻が病気・留守の際、家事・育児は誰がするか<経験のある人のみ>

妻が病気・留守 の際、家事・育 児をする人	合 計									共		
	計	核 家 族				非 核 家 族				計	核 家	
		小 計	小以下 学あり 生り	小以下 学なし 生	子 供なし	小 計	小以下 学あり 生り	小以下 学なし 生	子 供なし		小 計	小以下 学あり 生り
計	813 (100.0)	519 (100.0)	323 (100.0)	115 (100.0)	81 (100.0)	294 (100.0)	212 (100.0)	44 (100.0)	38 (100.0)	410 (100.0)	211 (100.0)	98 (100.0)
夫 が する	38.7	56.6	49.5	52.2	91.4	7.1	6.1	9.1	10.5	34.9	62.1	49.0
母など家族 の者がする	47.2	24.7	34.4	8.7	8.6	87.1	89.2	75.0	89.5	56.3	23.7	39.8
子 供 が する	5.9	7.5	3.7	23.4	—	3.1	1.4	13.6	—	4.1	6.6	2.0
近所や親戚 の人を頼む	4.8	6.9	8.0	8.7	—	1.0	0.9	2.3	—	2.2	4.3	6.1
家政婦・ベビーシ ッターなどを頼む	0.4	0.6	0.3	1.7	—	—	—	—	—	0.2	0.5	—
そ の 他	3.0	3.7	4.0	5.2	—	1.7	2.4	—	—	2.2	2.8	3.1

表8. 毎日の子供の世話<共働き、小学生以下のある人>(既婚勤労者男女)

毎日の子供の世話	合 計							勤 労 者			
	計	核 家 族			非 核 家 族			計	核 家 族		
		小 計	未児 就あ 学り	未児 就な 学し	小 計	未児 就あ 学り	未児 就な 学し		小 計	未児 就あ 学り	未児 就な 学し
計	264 (100.0)	118 (100.0)	74 (100.0)	44 (100.0)	146 (100.0)	97 (100.0)	49 (100.0)	97 (100.0)	44 (100.0)	25 (100.0)	19 (100.0)
保育園にあずけている	21.2	31.4	50.0	—	13.0	19.6	—	22.7	29.5	52.0	—
幼稚園・学校＋母な ど家族の者がみている	35.6	13.6	8.1	22.7	53.4	37.1	85.7	29.9	6.8	8.0	5.3
幼稚園・学校＋子供 だけで家にいる	15.9	32.2	8.1	72.7	2.7	—	8.2	21.6	43.2	8.0	89.5
幼稚園・学校＋集団保育 や人にみてもらっている	2.3	4.2	5.4	2.3	0.7	1.0	—	1.0	2.3	4.0	—
一日中母など家族の 者がみている	22.3	13.6	20.3	2.3	29.5	41.2	6.1	23.7	15.9	24.0	5.3
一日中他人に頼んで みてもらっている	2.3	5.1	8.1	—	—	—	—	1.0	2.3	4.0	—
そ の 他	0.4	—	—	—	0.7	1.0	—	—	—	—	—

注 2人以上の子供を持つ家庭では、子供の世話の対応が異なる場合があるので、計は小学生以下

(既婚男女の共働き・非共働き別、核家族・非核家族別、子供の有無と学齢構成別)

働 き						非 共 働 き								
族		非 核 家 族				計	核 家 族				非 核 家 族			
小以下 学なし 生し	子供なし	小計	小以下 学あり 生し	小以下 学なし 生し	子供なし		小計	小以下 学あり 生し	小以下 学なし 生し	子供なし	小計	小以下 学あり 生し	小以下 学なし 生し	子供なし
53 (1000)	60 (1000)	199 (1000)	135 (1000)	33 (1000)	31 (1000)	403 (1000)	308 (1000)	225 (1000)	62 (1000)	21 (1000)	95 (1000)	77 (1000)	11 (1000)	7 (1000)
56.6	88.3	6.0	4.4	6.1	12.9	42.7	52.9	49.8	48.4	100.0	9.5	9.1	18.2	—
7.5	11.7	91.0	92.6	87.9	87.1	38.0	25.3	32.0	9.7	—	78.9	83.1	36.4	100.0
22.6	—	1.5	0.7	6.1	—	7.7	8.1	4.4	24.2	—	6.3	2.6	36.4	—
5.7	—	—	—	—	—	7.4	8.8	8.9	11.3	—	3.2	2.6	9.1	—
1.9	—	—	—	—	—	0.5	0.6	0.4	1.6	—	—	—	—	—
5.7	—	1.5	2.2	—	—	3.7	4.2	4.4	4.8	—	2.1	2.6	—	—

の核家族・非核家族別、子供の学齢構成別) (MA)

男			働 労 者							女		
非 核 家 族			計	核 家 族			非 核 家 族			核 家 族		
小 計	未 児 就 あ 学 り	未 児 就 な 学 し		小 計	未 児 就 あ 学 り	未 児 就 な 学 し	小 計	未 児 就 あ 学 り	未 児 就 な 学 し	小 計	未 児 就 あ 学 り	未 児 就 な 学 し
53 (1000)	35 (1000)	18 (1000)	167 (1000)	74 (1000)	49 (1000)	25 (1000)	93 (1000)	62 (1000)	31 (1000)	—	—	—
17.0	25.7	—	20.4	32.4	49.0	—	10.8	16.1	—	—	—	—
49.1	34.3	77.8	38.9	17.6	8.2	36.0	55.9	38.7	90.3	—	—	—
3.8	—	11.1	12.6	25.7	8.2	60.0	2.2	—	6.5	—	—	—
—	—	—	3.0	5.4	6.1	4.0	1.1	1.6	—	—	—	—
30.2	40.0	11.1	21.6	12.2	18.4	—	29.0	41.9	3.2	—	—	—
—	—	—	3.0	6.8	10.2	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	0.6	—	—	—	1.1	1.6	—	—	—	—

の子供のある家庭数を超える。

表 9. 子供が病気のときの世話<共働き、小学生以下のある人> (既婚 勤労

病児をみる人	合 計							勤 労 者			
	計	核 家 族			非 核 家 族			計	核 家 族		
		小 計	未 児 就 あ 学 り	未 児 就 な 学 し	小 計	未 児 就 あ 学 り	未 児 就 な 学 し		小 計	未 児 就 あ 学 り	未 児 就 な 学 し
計	248 (1000)	110 (1000)	66 (1000)	44 (1000)	138 (1000)	89 (1000)	49 (1000)	93 (1000)	42 (1000)	23 (1000)	19 (1000)
妻が仕事を休んでみる	37.1	54.5	48.5	63.6	23.2	25.8	18.4	31.2	45.2	34.8	57.9
夫が仕事を休んでみる	2.4	5.5	4.5	6.8	—	—	—	4.3	9.5	13.0	5.3
夫と妻のどちらか 都合のつく方が休む	9.3	10.9	10.6	11.4	8.0	5.6	12.2	15.1	14.3	8.7	21.1
母など家族の者がみる	49.2	25.5	31.8	15.9	68.1	67.4	69.4	46.2	62.2	39.1	10.5
他人を頼んで みてもらっている	0.8	1.8	3.0	—	—	—	—	—	—	—	—
子供だけで自宅におく	0.4	0.9	—	2.3	—	—	—	1.1	2.4	—	5.3
そ の 他	0.8	0.9	1.5	—	0.7	1.1	—	2.2	2.4	4.3	—

表 10. 女性が職業をもって外で働くことをどう思うか (既婚男女の共働き

女性が職業をもって外で 働くことについての意識	既 婚 男					
	共 働 き			非 共 働 き		
	小 計	核 家 族	非 核 家 族	小 計	核 家 族	非 核 家 族
計	151 (1000)	83 (1000)	68 (1000)	149 (1000)	92 (1000)	57 (1000)
女性も一生職業をもつ方がよい	21.9	16.9	27.9	8.7	10.9	5.3
結婚するまでは職業をもつ方がよい	4.0	3.6	4.4	13.4	15.2	10.5
子供ができるまでは職業をもつ方がよい	9.9	8.4	11.8	11.4	7.6	17.5
子供ができたら職業をやめ、大きく なったら再び職業をもつ方がよい	55.0	61.4	47.1	51.7	50.0	54.4
女性は職業をもたない方がよい	4.0	6.0	1.5	9.4	9.8	8.8
わ か ら な い	5.3	3.6	7.4	5.4	6.5	3.5

者男女の核家族・非核家族別、子供の学齢構成別)

男			勤 労 者								
非 核 家 族			計	核 家 族			非 核 家 族			計	小 計
小 計	未児 就あ 学り	未児 就な 学し		小 計	未児 就あ 学り	未児 就な 学し	小 計	未児 就あ 学り	未児 就な 学し		
51 (100.0)	33 (100.0)	18 (100.0)	155 (100.0)	68 (100.0)	43 (100.0)	25 (100.0)	87 (100.0)	56 (100.0)	31 (100.0)		
19.6	24.2	11.1	40.6	60.3	55.8	68.0	25.3	26.8	22.6		
—	—	—	1.3	2.9	—	8.0	—	—	—		
15.7	12.1	22.2	5.8	8.8	11.6	4.0	3.4	1.8	6.5		
62.7	60.6	66.7	51.0	25.0	27.9	20.0	71.3	71.4	71.0		
—	—	—	1.3	2.9	4.7	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
2.0	3.0	—	—	—	—	—	—	—	—		

・非共働き別、核家族・非核家族別)

既 婚			女		
共 働 き			非 共 働 き		
小 計	核 家 族	非 核 家 族	小 計	核 家 族	非 核 家 族
300 (100.0)	166 (100.0)	134 (100.0)	300 (100.0)	255 (100.0)	45 (100.0)
32.7	29.5	36.6	22.3	22.0	24.4
2.0	1.8	2.2	9.3	9.4	8.9
8.3	8.4	8.2	6.3	6.3	6.7
49.3	53.6	44.0	54.0	54.9	48.9
3.0	1.2	5.2	1.0	0.8	2.2
4.6	5.4	3.7	7.0	6.7	8.9

表12. 女性が結婚後も職業をもって外で働くために必要なこと（未婚勤

女性が結婚後も職業をもって外で働くために必要なこと	未婚勤労者		既 婚			
	男	女	男			
	20代	20代	小 計	20代	30代	40代
計	458 (1000)	531 (1000)	742 (1000)	276 (1000)	253 (1000)	212 (1000)
家事がさらに 合理化されること	7.9	7.5	8.9	8.7	7.9	10.4
保 育 施 設 の 充 実	17.2	16.9	18.8	18.5	21.3	16.0
労働時間の短縮や、 休暇の増大	21.2	13.9	17.8	19.6	18.2	14.6
育児休業制度の普及	12.4	14.9	11.6	12.0	13.4	9.0
看護休暇制度の普及	2.8	3.2	3.4	4.0	4.3	1.4
ホームヘルプ制度など多 様な家事援助制度の設置	2.2	1.9	3.6	1.8	3.6	6.1
男性も家事・育児にたず さわるといふ意識の変化	9.4	13.9	11.6	11.6	11.5	11.8
女性がもっと自覚を高め 家庭との両立に努力すること	17.0	16.2	16.1	14.9	14.2	19.8
仕事の上での 男女平等が進むこと	4.6	8.7	3.6	4.0	3.2	3.8
そ の 他	0.7	0.8	0.9	1.1	0.8	0.9
特 に 必 要 は な い	1.1	0.2	1.6	0.7	0.8	3.8
わ か ら な い	3.5	1.9	2.2	3.3	0.8	2.4

表13. 結婚する場合、共働きでもよいと思うか＜未婚勤労者男女＞

女性が 職業をもって 働くことについての意識	男					
	計	共働きで もよいと 思う	できるなら 共働きは したくない	絶対に共 働きはし たくない	共働きで いきたい	わからない
計	193 (1000)	106 (1000)	56 (1000)	5 (1000)	24 (1000)	2 (1000)
女性も一生職業をもつ方がよい	15.0	20.8	3.6	—	20.8	—
結婚するまでは職業をもつ方がよい	15.5	7.5	33.9	60.0	—	—
子供ができるま で職業をもつ方がよい	22.3	20.8	28.6	—	16.7	50.0
子供ができたら職業をやめ大き くなったら再び職業をもつ方がよい	38.9	47.2	19.6	—	54.2	50.0
女性は職業をもたない方がよい	4.1	—	12.5	20.0	—	—
わ か ら な い	4.1	3.8	1.8	20.0	8.3	—

労者男女、既婚勤労者男女及び無職女子の年齢階級別)

(MA)

勤 労 者				既 婚 無 職			
女				女			
小 計	20代	30代	40代	小 計	20代	30代	40代
836 (1000)	284 (1000)	281 (1000)	271 (1000)	943 (1000)	305 (1000)	308 (1000)	330 (1000)
8.6	8.8	6.8	10.3	6.2	6.6	5.8	6.1
17.9	21.1	19.6	12.9	20.8	21.0	21.1	20.3
15.8	15.5	17.1	14.8	11.8	13.8	12.0	9.7
13.8	16.5	14.2	10.3	15.4	18.4	13.3	14.5
5.7	4.9	6.4	5.9	6.3	5.2	6.5	7.0
3.3	3.2	3.2	3.7	5.3	3.9	5.8	6.1
11.0	11.3	10.7	11.1	14.5	14.8	14.3	14.5
13.2	10.9	12.1	16.6	9.7	8.8	9.7	10.3
7.9	5.6	8.2	10.0	8.0	6.2	8.8	8.8
0.7	1.1	—	1.1	0.4	0.7	—	0.6
0.1	—	0.4	—	0.3	—	0.6	0.3
1.9	1.1	1.4	3.3	1.5	0.7	1.9	1.8

(女性が職業をもって外で働くことの意識別)

女					
計	共働きでもよいと思う	できるなら共働きはしたくない	絶対に共働きはしたくない	共働きでいきたい	わからない
182 (1000)	99 (1000)	68 (1000)	3 (1000)	8 (1000)	4 (1000)
15.9	20.2	5.9	—	62.5	—
14.3	5.1	23.5	100.0	—	50.0
20.3	25.3	14.7	—	12.5	25.0
45.1	46.5	48.5	—	25.0	25.0
1.1	—	2.9	—	—	—
3.3	3.0	4.4	—	—	—

表 1 4. 働く機会があったり、子供に手がかからなくなったら
外に出て何かしたいか〈既婚無職女子〉（年齢階級別）

外に出てすること	計	20代	30代	40代
計	300 (100.0)	100 (100.0)	100 (100.0)	100 (100.0)
就 職 し た い	53.7	57.0	60.0	44.0
趣味・レジャー 活動をしたい	30.3	35.0	24.0	32.0
婦人会活動や 社会活動をしたい	6.0	—	7.0	11.0
そ の 他	4.0	4.0	5.0	3.0
外に出て何か したいとは思わない	6.0	4.0	4.0	10.0

表 1 5. いつまで働く予定か
〈未婚勤労者女子、既婚勤労者女子〉（年齢階級別）

働 く 予 定	未 婚	既 婚			
	20代	小 計	20代	30代	40代
計	200 (100.0)	300 (100.0)	100 (100.0)	100 (100.0)	100 (100.0)
結婚するまで働きたい	27.0	—	—	—	—
子供ができるまで 働きたい	40.5	13.3	33.0	5.0	2.0
生活のメドがつき 次第退めたい	12.0	22.0	26.0	21.0	19.0
定年まで(できる だけ長く)働きたい	15.0	58.3	37.0	68.0	70.0
そ の 他	5.5	6.3	4.0	6.0	9.0

表16. いつまで働く予定か〈既婚勤労者女子〉（核家族・非核家族別、子供の有無と学齢構成別）

働 く 予 定	核 家 族					非 核 家 族				
	計	未児 就あ 学り	小あ 学 生り	小以下 学 生し	子 供 な し	計	未児 就あ 学り	小あ 学 生り	小以下 学 生し	子 供 な し
計	166 (100.0)	42 (100.0)	26 (100.0)	44 (100.0)	54 (100.0)	134 (100.0)	55 (100.0)	32 (100.0)	27 (100.0)	20 (100.0)
子供ができるまで 働きたい	21.7	—	3.8	2.3	63.0	3.0	—	—	—	20.0
生活のメドがつき 次第退めたい	21.1	33.3	15.4	27.3	9.3	23.1	34.5	12.5	18.5	15.0
定年まで(できる だけ長く)働きたい	51.2	61.9	69.2	61.4	25.9	67.2	56.4	81.3	77.8	60.0
そ の 他	6.0	4.8	11.5	9.1	1.9	6.7	9.1	6.3	3.7	5.0

表17. 働く主な理由〈未婚勤労者女子、既婚勤労者女子及び無職女子〉（年齢階級別）

働 く 主 な 理 由	未 婚 勤 労 者	既 婚 勤 労 者				既 婚 無 職			
	20代	小 計	20代	30代	40代	計	20代	30代	40代
計	200 (100.0)	300 (100.0)	100 (100.0)	100 (100.0)	100 (100.0)	161 (100.0)	57 (100.0)	60 (100.0)	44 (100.0)
働かないと生活できないから	19.0	19.0	21.0	14.0	22.0	3.1	1.8	5.0	2.3
働くことは当然だから	19.0	8.3	5.0	9.0	11.0	5.0	1.8	6.7	6.8
生活を豊かにしたり、 自分の小遣いがほしいから	31.5	28.0	38.0	26.0	20.0	26.7	31.6	25.0	22.7
住宅費や教育費が必要だから	0.5	11.0	8.0	12.0	13.0	12.4	8.8	15.0	13.6
将来や老後のための蓄え	5.5	13.3	10.0	15.0	15.0	6.8	8.8	8.3	2.3
自分の能力や技術を 生かしたいから	5.0	3.7	4.0	4.0	3.0	14.3	14.0	11.7	18.2
仕事に生きがいを感じるから	1.5	3.3	1.0	3.0	6.0	4.3	5.3	1.7	6.8
社会経験をしたり、 友達がほしいから	15.0	4.3	6.0	5.0	2.0	18.6	19.3	18.3	18.2
時間のゆとりがあっ たりみんなが働くから	0.5	1.3	2.0	1.0	1.0	3.1	3.5	3.3	2.3
そ の 他	2.5	7.7	5.0	11.0	7.0	5.6	5.3	5.0	6.8

表 1.8. 働く主な理由<未婚勤労者女子、既婚勤労者女子>（職種別）

働く主な理由	未婚勤労者			既婚勤労者		
	小 計	事務系	労務系	小 計	事務系	労務系
計	200 (100.0)	109 (100.0)	91 (100.0)	300 (100.0)	145 (100.0)	155 (100.0)
働かないと生活 できないから	19.0	18.3	19.8	19.0	15.2	22.6
働くことは当然だから	19.0	19.3	18.8	8.3	13.8	3.2
生活を豊かにしたり、 自分の小遣いがほしいから	31.5	27.5	36.3	28.0	25.5	30.3
住宅費や教育費が 必要だから	0.5	—	1.1	11.0	11.0	11.0
将来や老後のための蓄え	5.5	3.7	7.7	13.3	13.1	13.5
自分の能力や技術を 生かしたいから	5.0	6.4	3.3	3.7	2.8	4.5
仕事に生きがい を感じるから	1.5	0.9	2.2	3.3	3.4	3.2
社会経験をしたり、 友達がほしいから	15.0	20.2	8.8	4.3	5.5	3.2
時間にゆとりがあっ たり、みんなが働くから	0.5	—	1.1	1.3	1.4	1.3
そ の 他	2.5	3.7	1.1	7.7	8.3	7.1

正 誤 表

ページ	行 数	誤	正
5	下 3	「食食」	「夕食」
7	上 16 16	「子供の遊び相手」	「子供の遊び相手・お守」
10	上 13	「母などがする」	「母など家族の者がする」
17	下 5	「住宅や教育費・・」	「住宅費や教育費……………」